

【単純集計版】

**「県内企業の採用活動に関する実態調査」
報告書**

令和6年3月26日

大学・地域共創プラットフォーム香川

調査実施機関：株式会社帝国データバンク

実態調査概要

- 実施期間 : 令和6年1月15日（月）～2月9日（金）
- 対象企業 : 本社所在地が香川県の企業 合計1000社
（従業員数30名以上の企業995件＋従業員数25～29名の企業5件）
- 有効回答数 : 348件（回収率34.8%）
- 調査方法 : アンケート調査（郵送）
- 調査目的 : 県内企業における採用活動の実態を明らかにするとともに、学生の就職活動の実態との比較を行うことを目的とする。
- 調査内容 : 全18問（新規学卒者・中途採用・外国人材等の採用状況、新規学卒者の採用活動状況、企業の採用活動における広報活動状況等、詳細は次頁のとおり）

● 調査項目一覧

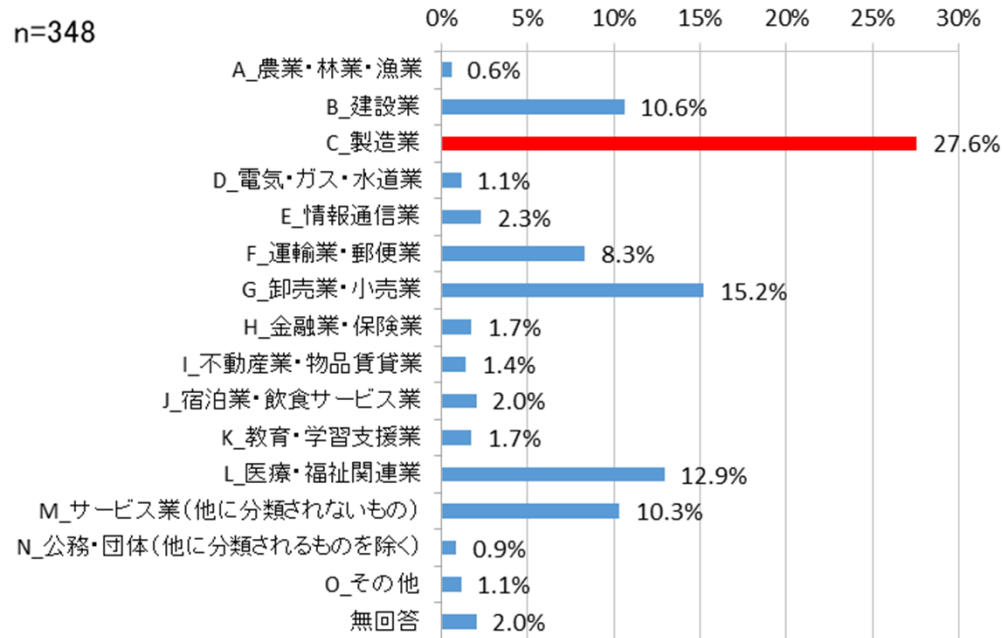
No.	区分	設問.	回答	No.	区分	設問	回答
0	属性	貴社名	単一	8	新規学卒者の採用状況	県外転出の理由	3つまで
		部署・役職名	単一	9	新規学卒者の採用状況	インターンシップ実施の有無	単一
		担当者名	単一				
		電話番号	単一	10	新規学卒者の採用状況	インターンシップ募集人数・参加人数	記述
		メールアドレス	単一				
		業種	単一				
		従業員数	単一	11	新規学卒者の採用状況	インターンシップを実施しない理由	3つまで
1	採用活動の状況	採用活動の有無	単一	12	新規学卒者の採用状況	就職活動の際に学生が参考にするもの	3つまで
2	採用活動の状況	採用人材の種類・優先順位・人数	複数	13	新規学卒者の採用状況	内定辞退の理由	3つまで
3	新規学卒者の採用状況	採用ターゲット校の有無・ターゲットエリア	3つまで	14	採用活動における広報	採用活動時の情報発信の方法	3つまで
4	新規学卒者の採用状況	No.3の選択理由	3つまで	15	採用活動における広報	採用活動にかかる費用	単一
5	新規学卒者の採用状況	採用活動開始時期	単一	16	採用活動における広報	採用活動時のPRポイント	3つまで
6	新規学卒者の採用状況	採用活動終了時期	単一	17	採用活動における広報	採用活動における課題	3つまで
7	新規学卒者の採用状況	県内での就職が困難になる理由	3つまで	18	香川県の就職状況	香川県での就職者を増やすために必要な取組	3つまで

備考

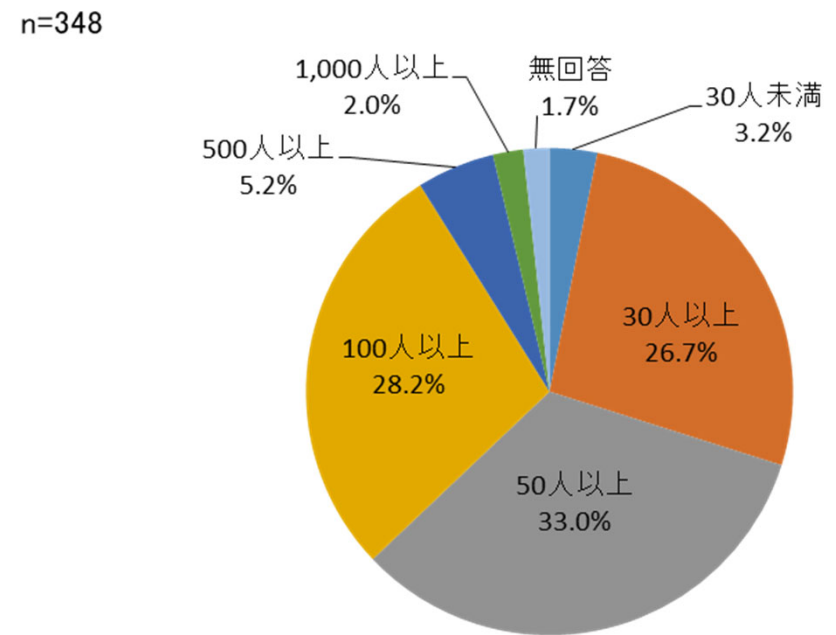
- 構成比に関しては、小数点第2位を四捨五入して計算しているため、合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答の場合、回答した企業数（n数）に対する割合を示しているため、構成比の合計が100%を超えることがあります。

■ 回答企業の属性

【業種】



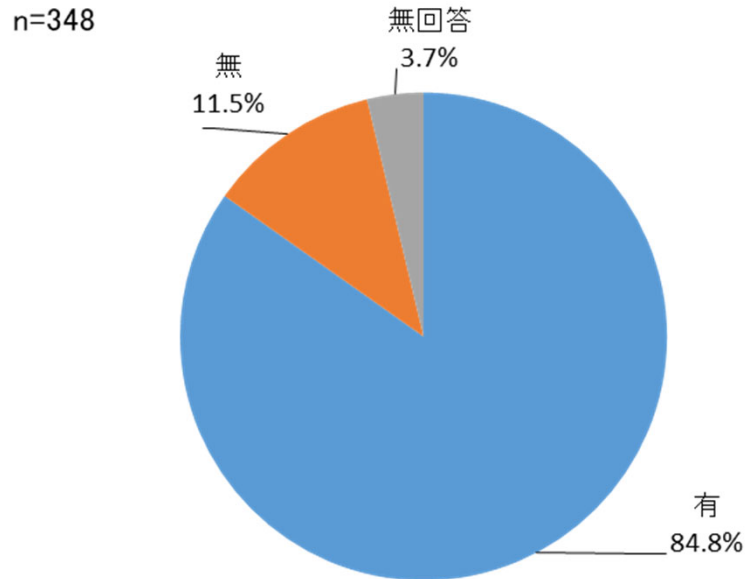
【従業員数】



- 業種で見ると、「製造業」27.6%が最も多く、次いで「卸売業・小売業」15.2%、「医療・福祉関連業」12.9%と続く。
- 従業員数では、「50人以上100人未満」が最も多く33.0%、次いで「100人以上500人未満」28.2%、「30人以上50人未満」26.7%と続く。

■ 採用に関する基本事項

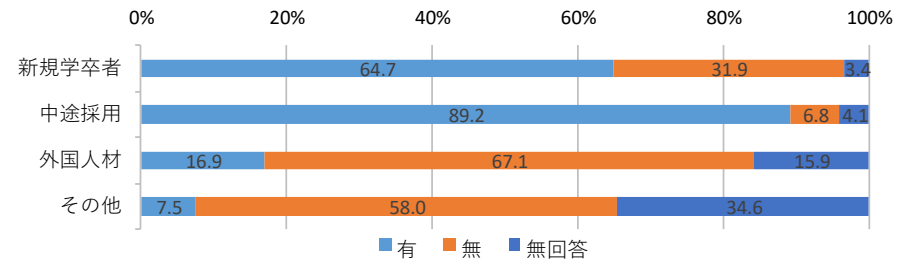
Q1 【採用活動の有無】



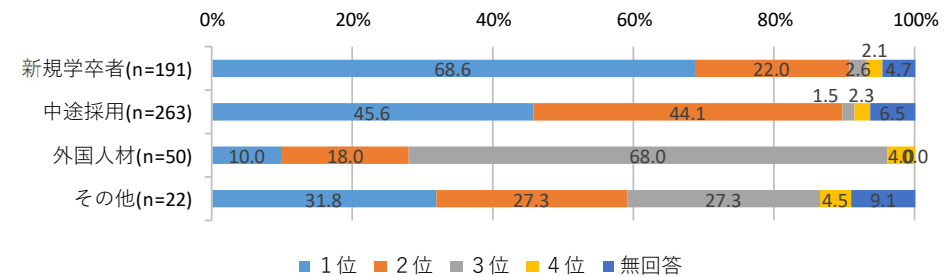
Q2 【採用人材ごとの採用活動の有無と優先度】

n=295

<採用活動の有無>



<採用活動優先順位>



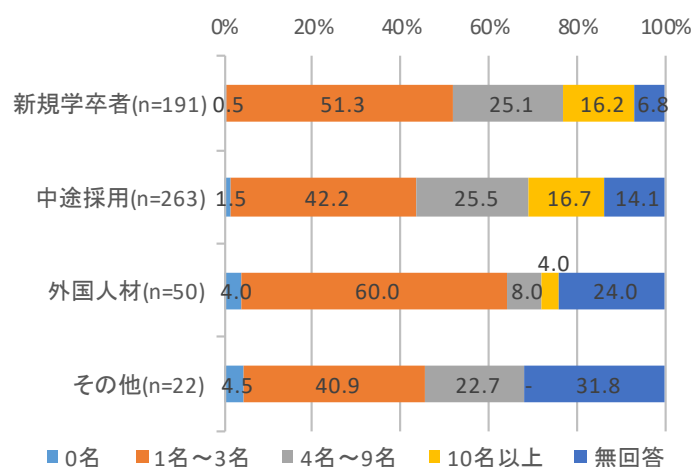
- 採用活動の有無については、回答があった企業348社のうち、「有」が84.8%（295社）、「無」が11.5%（40社）であった。
- 採用人材ごとの採用活動の有無については、採用活動有と回答した企業295社のうち、「中途採用」が89.2%（263社）と最も多く、次いで「新規学卒者」64.7%（191社）と続く。「外国人材」は16.9%（50社）と、「中途採用」「新規学卒者」と比べ大きく下回っている。
- 採用活動の優先順位として、「1位」を占める割合が最も多いのは、「新規学卒者」の68.6%、次いで「中途採用」45.6%であった。

■ 採用に関する基本事項

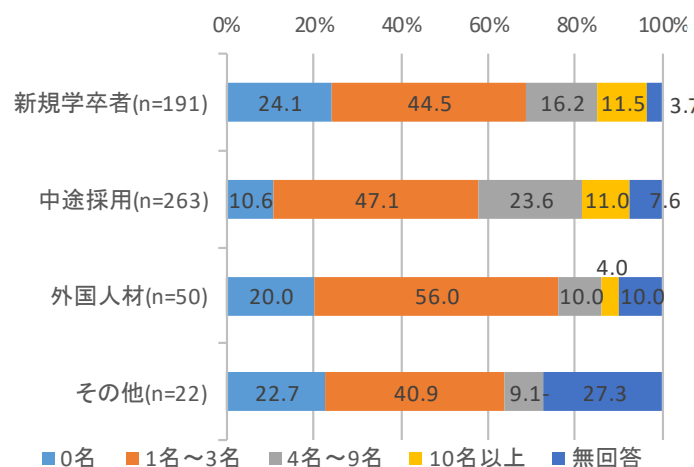
Q2 【採用計画人数（求人数）、採用者数、内定辞退者数】

※新規学卒者：令和5年3月卒業、中途採用：令和4年度中の採用、外国人材：令和4年度中の採用

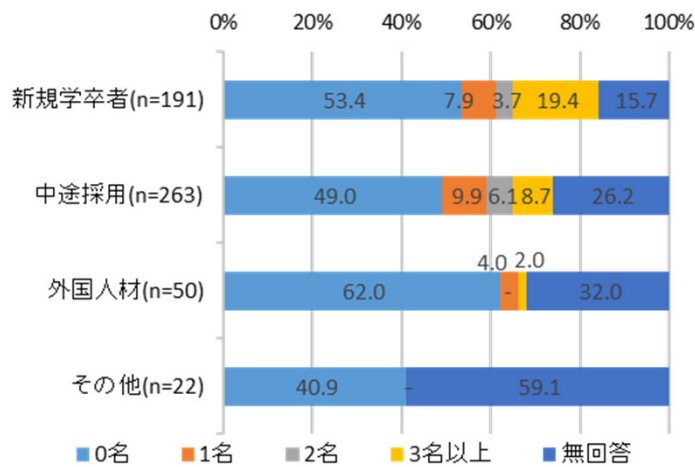
<採用計画人数（求人数）>



<採用者数>



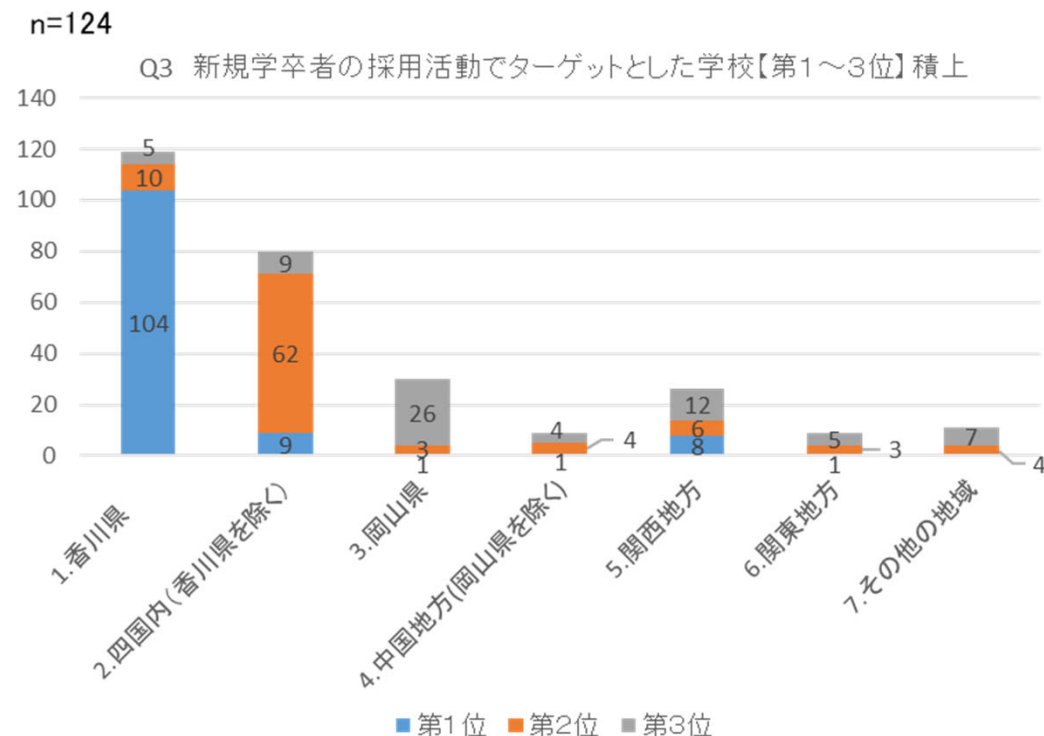
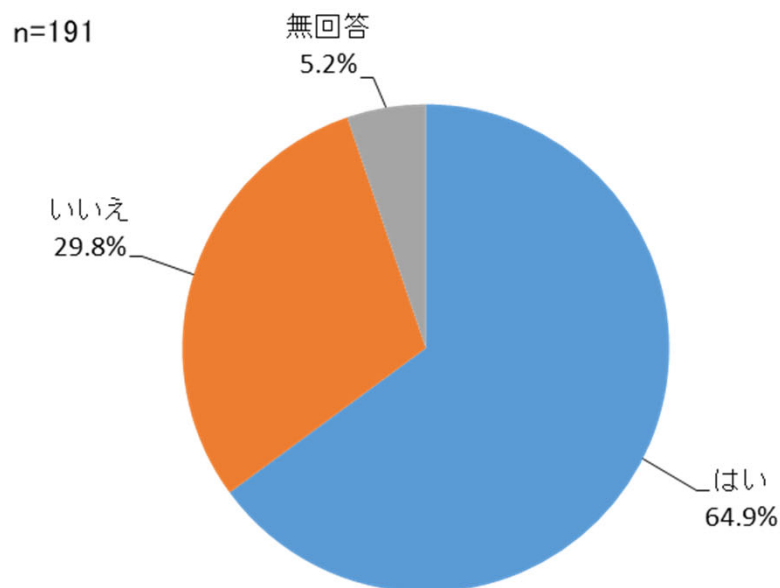
<内定辞退者数>



- 採用計画人数（求人数）について、いずれの採用人材も「1名～3名」とする率が最も高かった。「外国人材」について、「4名以上」と回答する率は、その他の採用人材と比べ低かった。
- 採用者数についても、「0名」の率が最も高いのは、「新規学卒者」で24.1%（46社）であった。一方、「0名」の率が最も低いのは、「中途採用」で10.6%（28社）であった。
- 内定辞退者数については、無回答を除く「0名」の率が最も高いのは、「外国人材」62.0%（31社）であり、次いで「新規学卒者」53.4%（102社）と続く。
- 全体の充足率については、1社あたり求人数は平均10人、充足率は62%であった。新規学卒者に限定した充足率については、1社あたり求人数は平均6人、充足率は37%であった。

■ 新規学卒者採用に係る採用状況

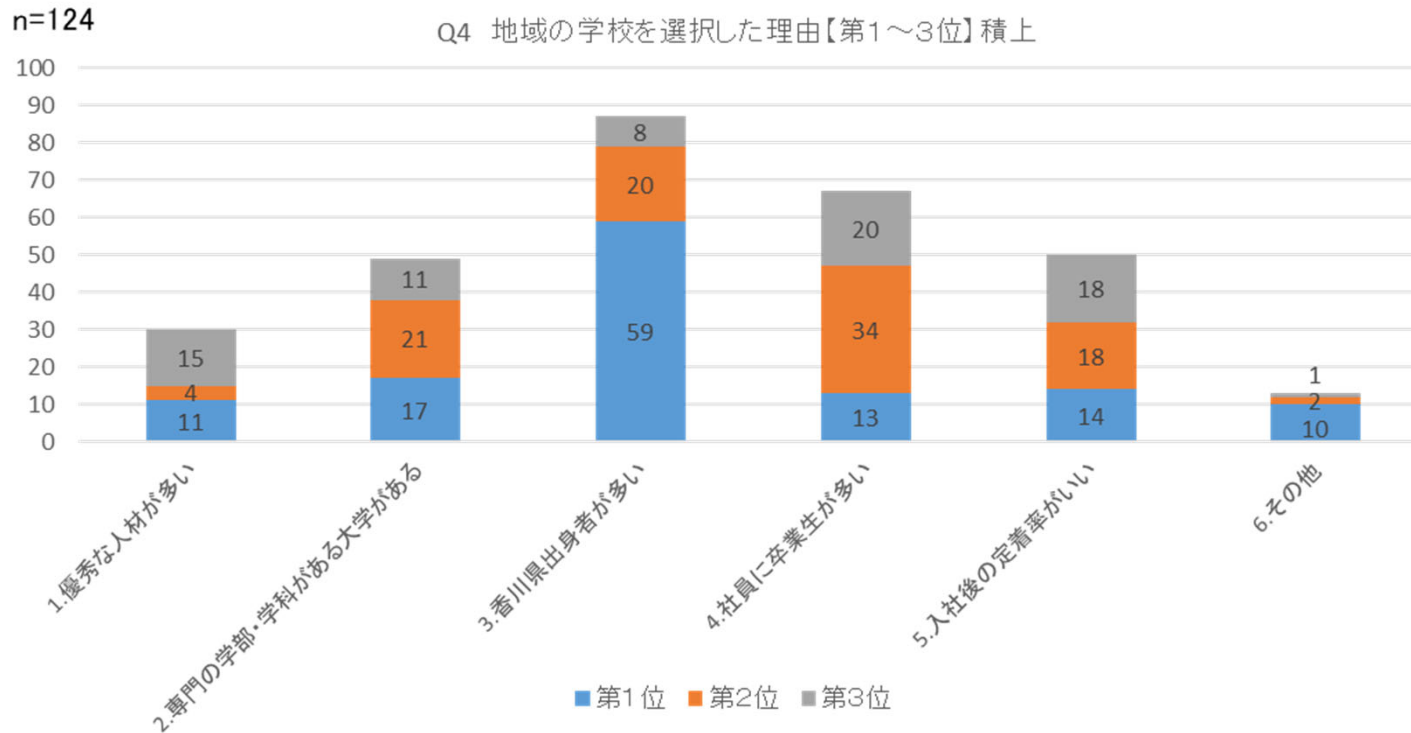
Q3 【ターゲット学校の有無、地域】



- 新規学卒者の採用活動で、ターゲットとする大学等の有無について、「有」が64.9% (124社)、「無」が29.8% (57社) となった。
- ターゲットとする大学等所在地の地域は、「1.香川県」119社が最も多い。次いで「2.四国内(香川県を除く)」が80社となっている。

■ 新規学卒者採用に係る採用状況

Q4 【Q3の地域を選んだ理由】

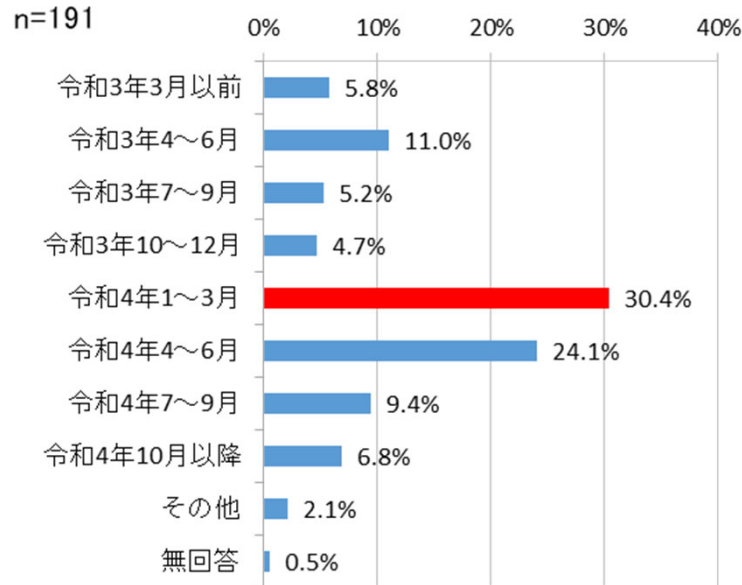


➤ Q3の地域を選んだ理由について、

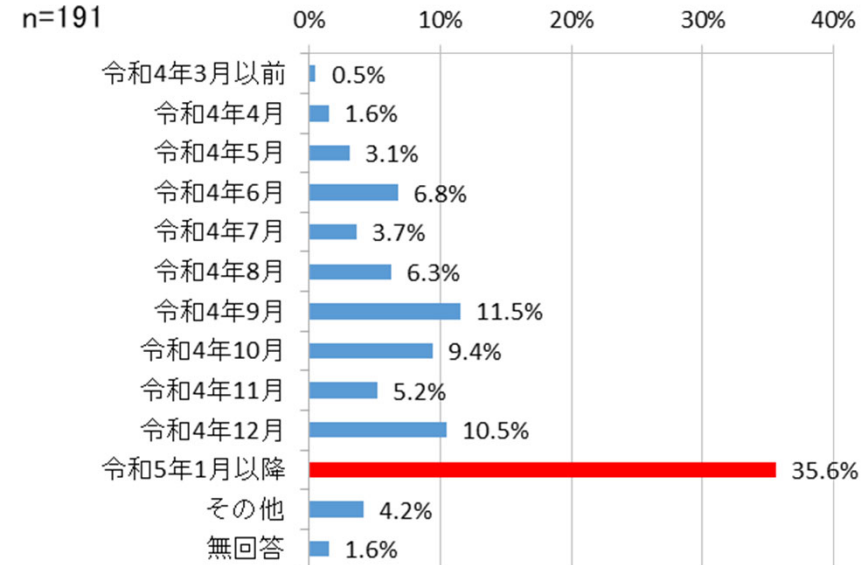
「3.香川県出身者が多い」が87社と最も多く、うち59社が1位に選んでいる。次いで、「4.社員に卒業生が多い」67社、「5.入社後の定着率がいい」50社と続く。自社での採用実績や入社後の定着率を重視していることが分かる。

■ 新規学卒者採用に係る採用状況

Q5 【開始時期】



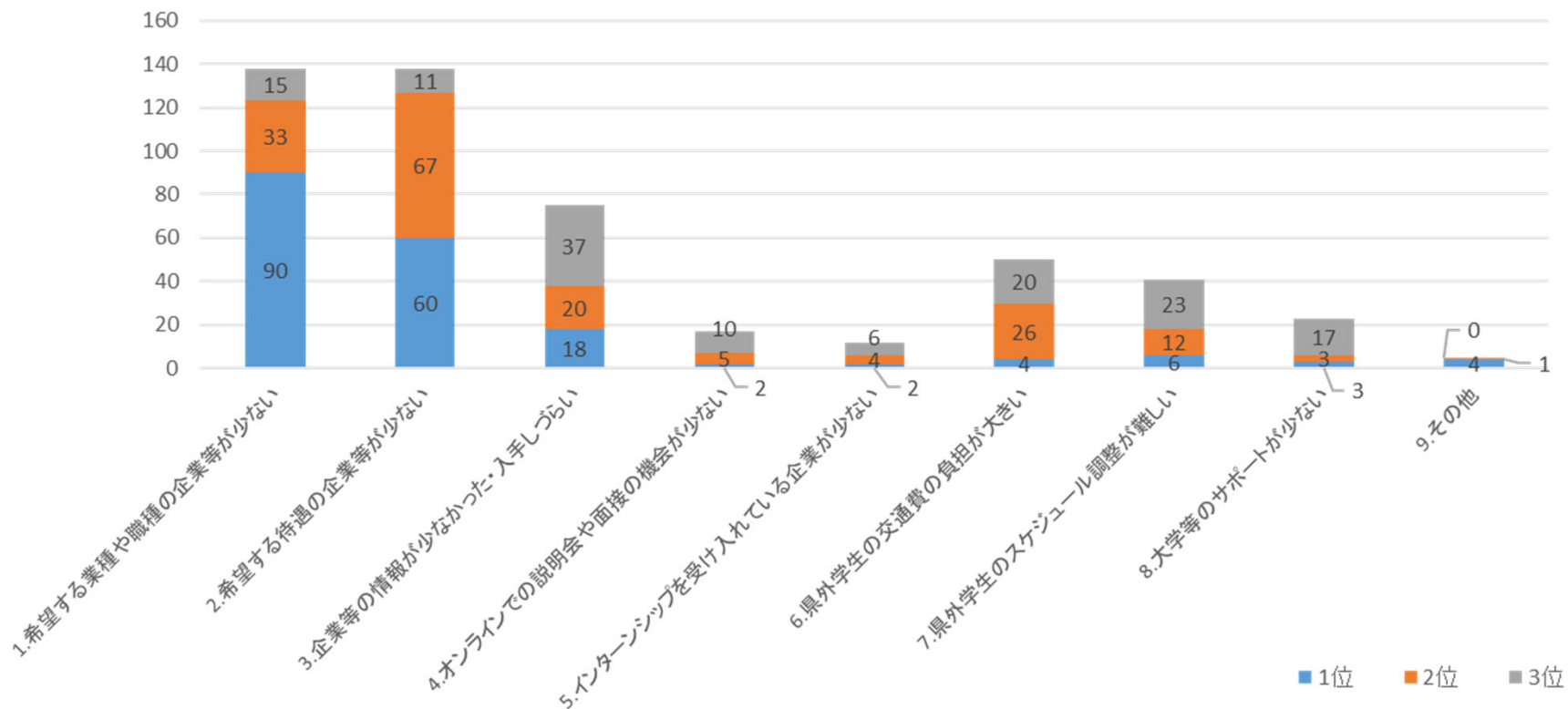
Q6 【終了時期】



- 令和5年3月新規学卒者の採用活動を始めた時期について、「令和4年1~3月」（採用の約1年2ヶ月前）30.4%（58社）が最も多い。全体の54.5%（104社）が採用の1年2ヶ月前~9ヶ月前の間に採用活動を始めている。
- 令和5年3月新規学卒者の採用活動を終えた時期について、「令和5年1月以降」（採用の2ヶ月前以降）35.6%（68社）が最も多く、「令和4年12月まで」（採用の約3ヶ月前まで）には徐々に活動を終え、全体の58.6%（112社）が採用の3か月前までには採用活動を終えている。

■ 新規学卒者採用に係る採用状況

Q7 【県内就職困難理由】 県内企業への就職を希望する学生が困難に感じる事（1位～3位）



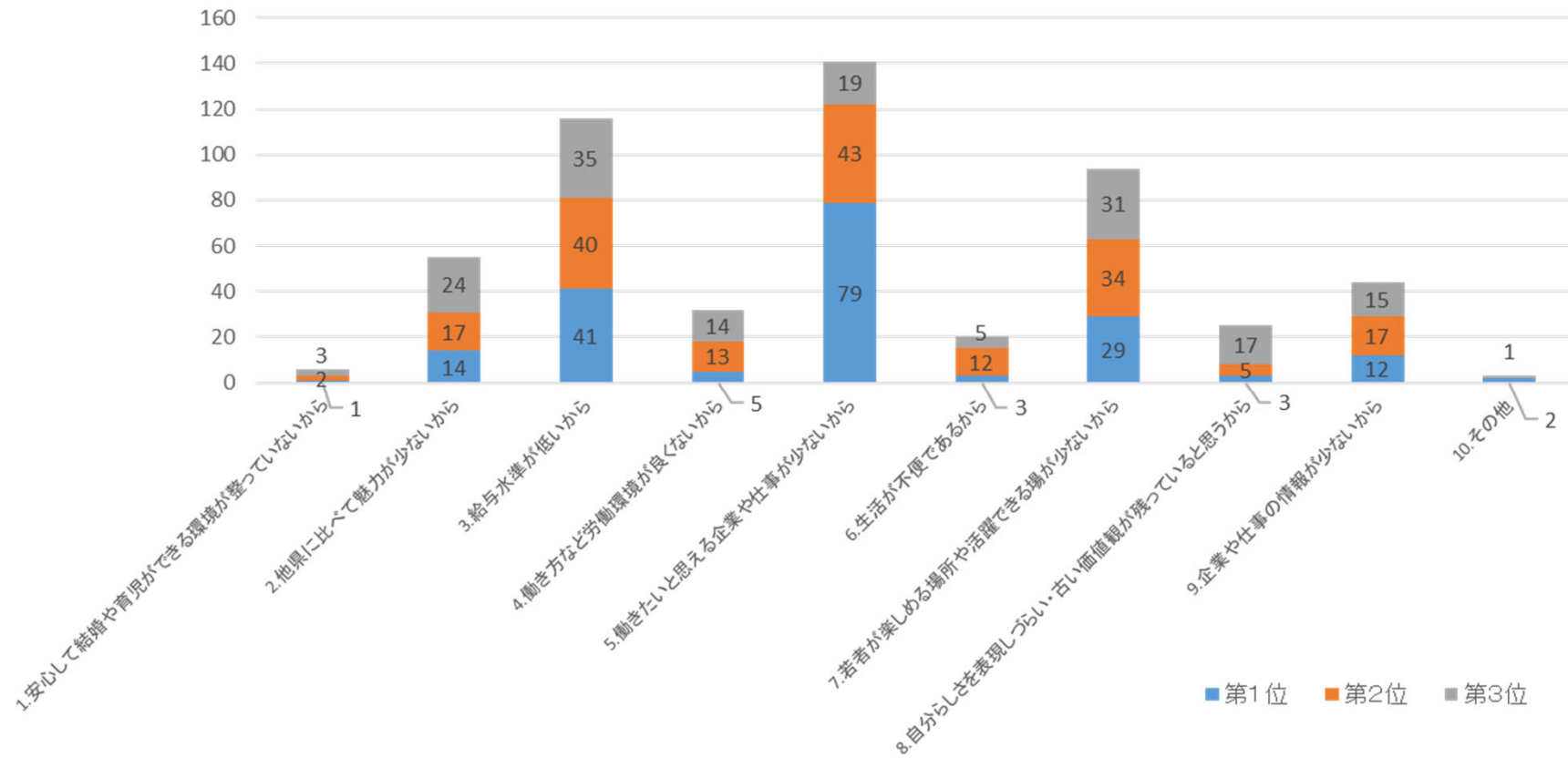
➤ 県内企業への就職を希望する学生が困難に感じる事について

「1.希望する業種や職種の企業等が少ない」138社と

「2.希望する待遇の企業等が少ない」138社の2つの理由が同数で1番多く、特に、「1.希望する業種や職種の企業等が少ない」は90社が1位に選んでいる。

■ 新規学卒者採用に係る採用状況

Q8 【県外転出理由】 県外への転出超過が大きくなる主な原因（1位～3位）

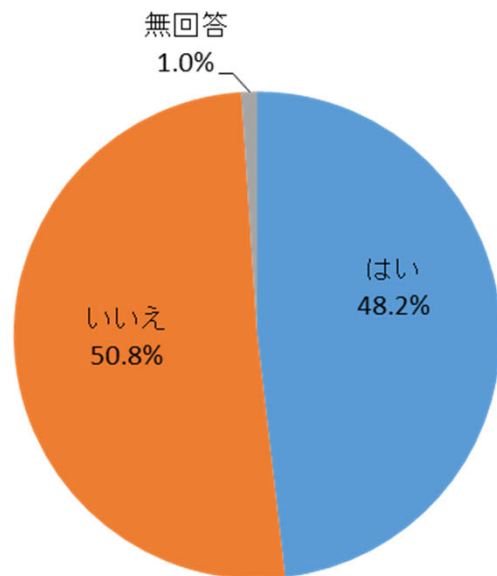


➤ 県外への転出超過が大きくなる主な原因について
 「5.働きたいと思える企業や仕事が少ないから」141社が一番多く、次いで
 「3.給与水準が低いから」116社、
 「7.若者が楽しめる場所や活躍できる場が少ないから」94社と続く。

■ 新規学卒者採用に係る採用状況

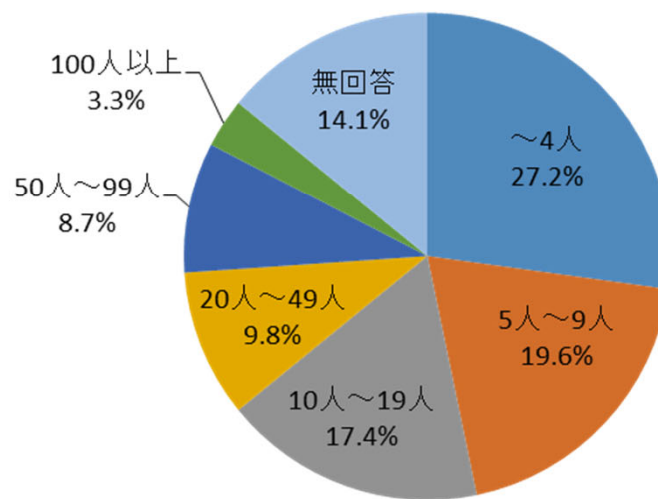
Q9 【インターンシップ有無】

n=191

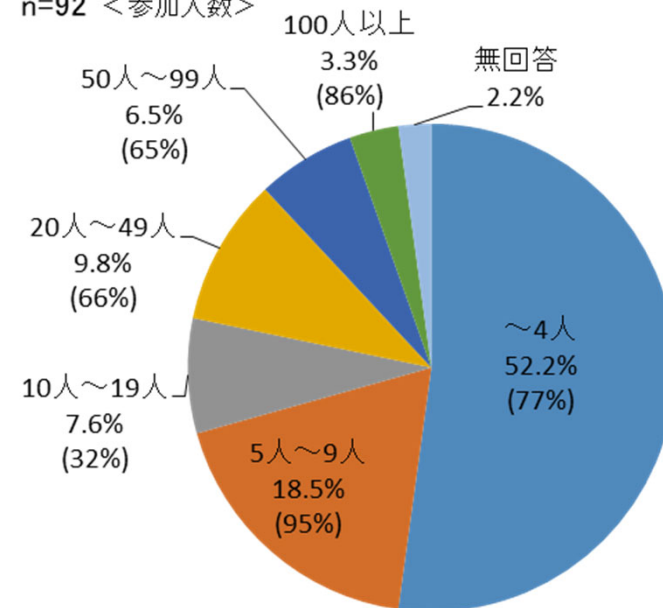


Q10 【募集人数／参加人数】

n=92 <募集人数>



n=92 <参加人数>

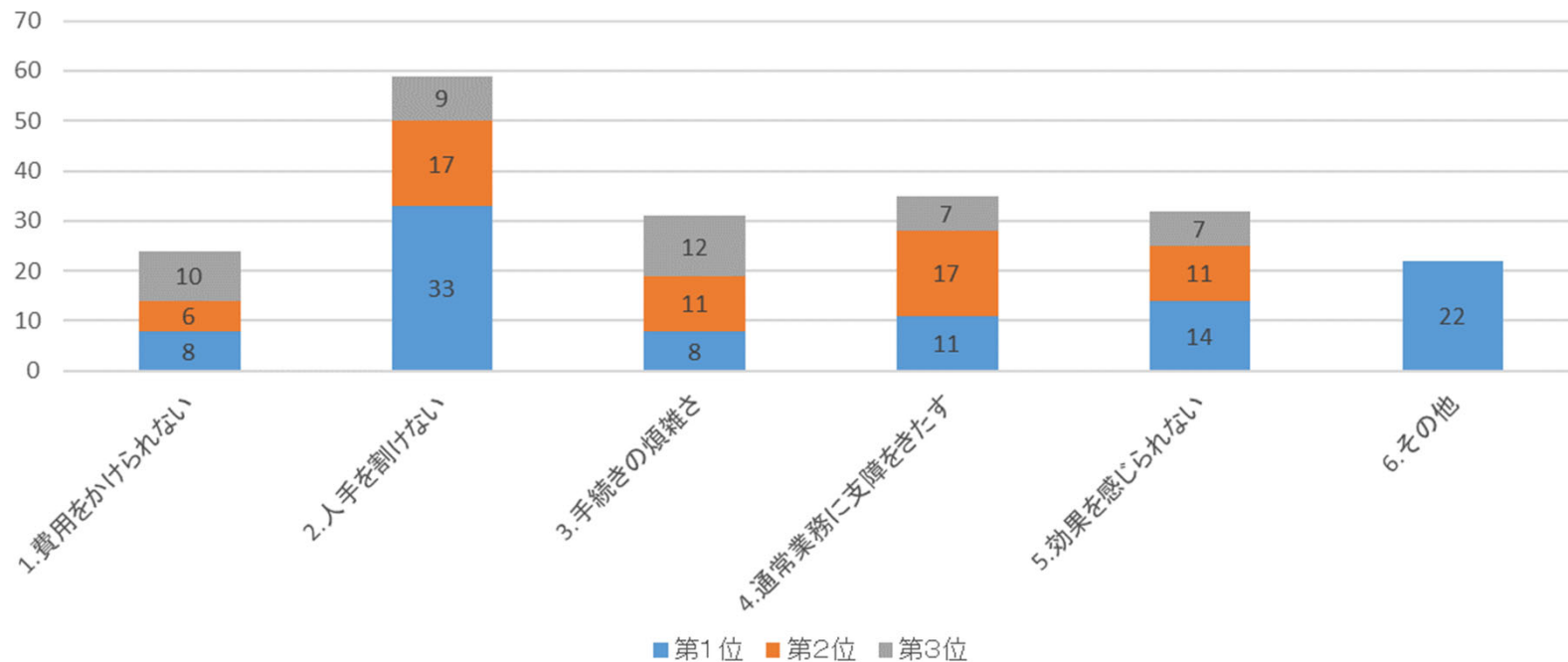


※ () 内の数値は募集人数に対する平均参加率

- 新規学卒者を対象とするインターンシップ実施の有無については、「有」と回答された企業は48.2% (92社)、「無」が50.8% (97社)。
- 募集人数は、インターンシップ実施有と回答した企業92社のうち、「~4人」が27.2% (25社)と最も多く、次いで、「5人~9人」19.6% (18社)、「10人~19人」17.4% (16社)と続く。
- 参加人数は「~4人」が52.2% (48社)と半数以上を占めている。

■ 新規学卒者採用に係る採用状況

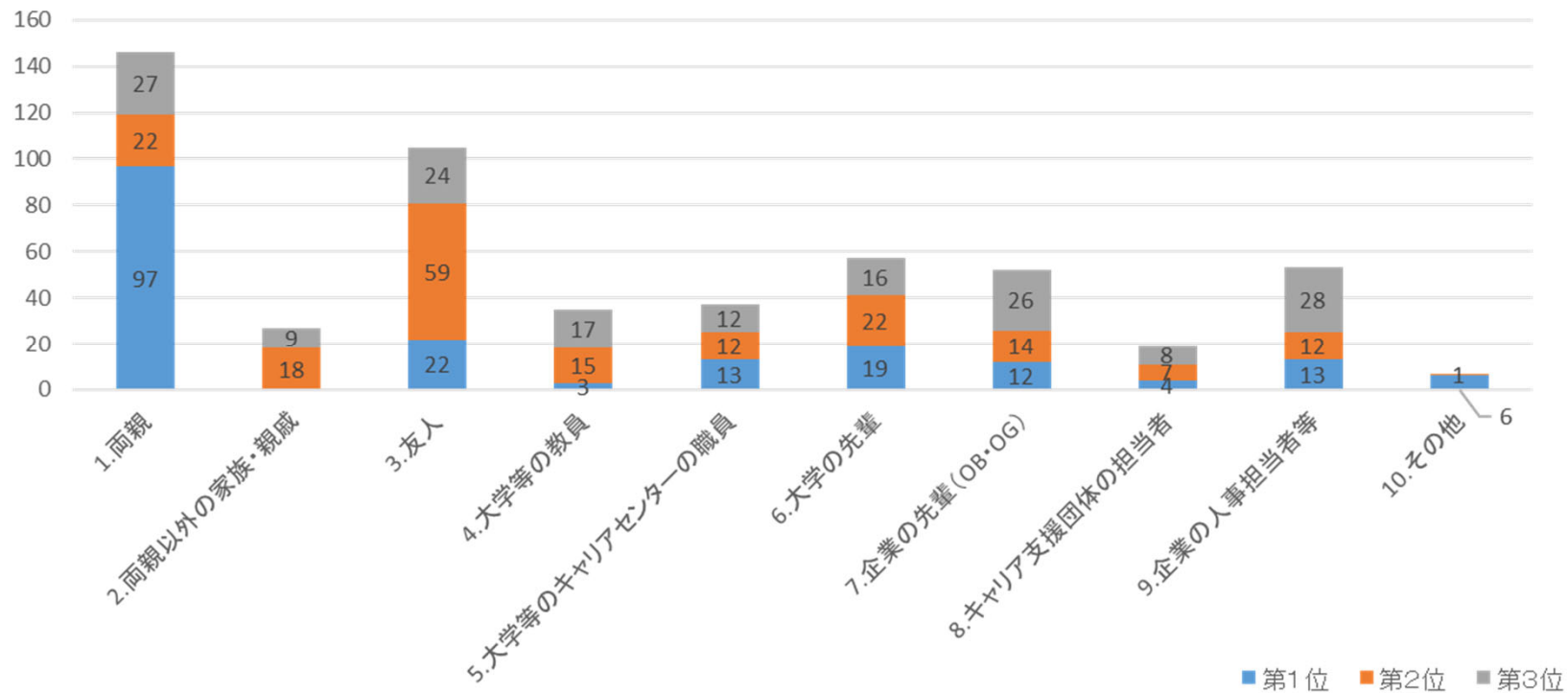
Q11 【インターンシップ実施しない理由】



- インターンシップを実施しない理由について、
「2.人手を割けない」59社が最も多く、うち33社が1位の理由としている。次いで、
「4.通常業務に支障をきたす」35社、「5.効果を感じられない」32社と続く

■ 新規学卒者採用に係る採用状況

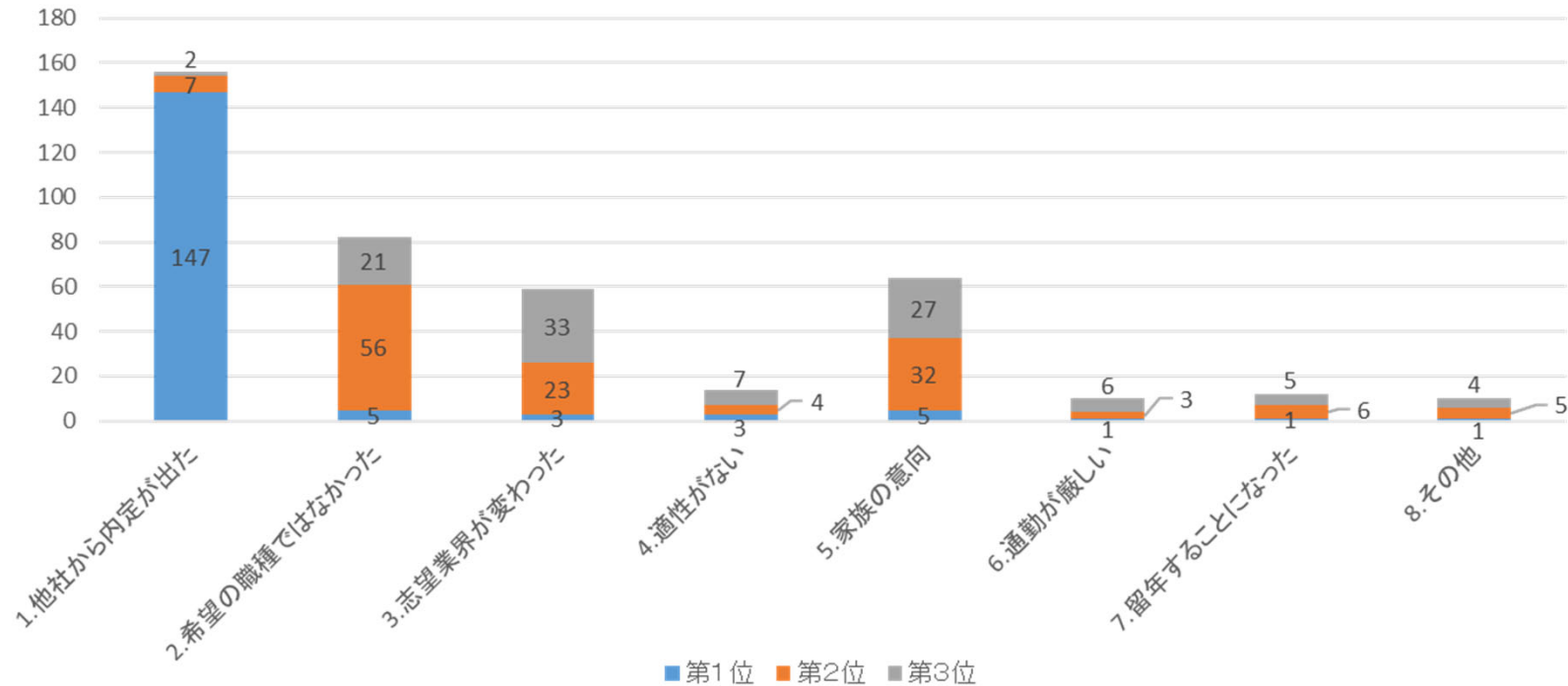
Q12 【学生が就職先決定の際に参考にする（影響を受ける）人物】



➤ 学生が就職先決定の際に参考にする（影響を受ける）人物について、「1.両親」146社が最も多く、うち97社が1位に選んでいる。次いで、「3.友人」105社、「6.大学の先輩」57社と続く。

■ 新規学卒者採用に係る採用状況

Q13 【内定辞退の主な理由】

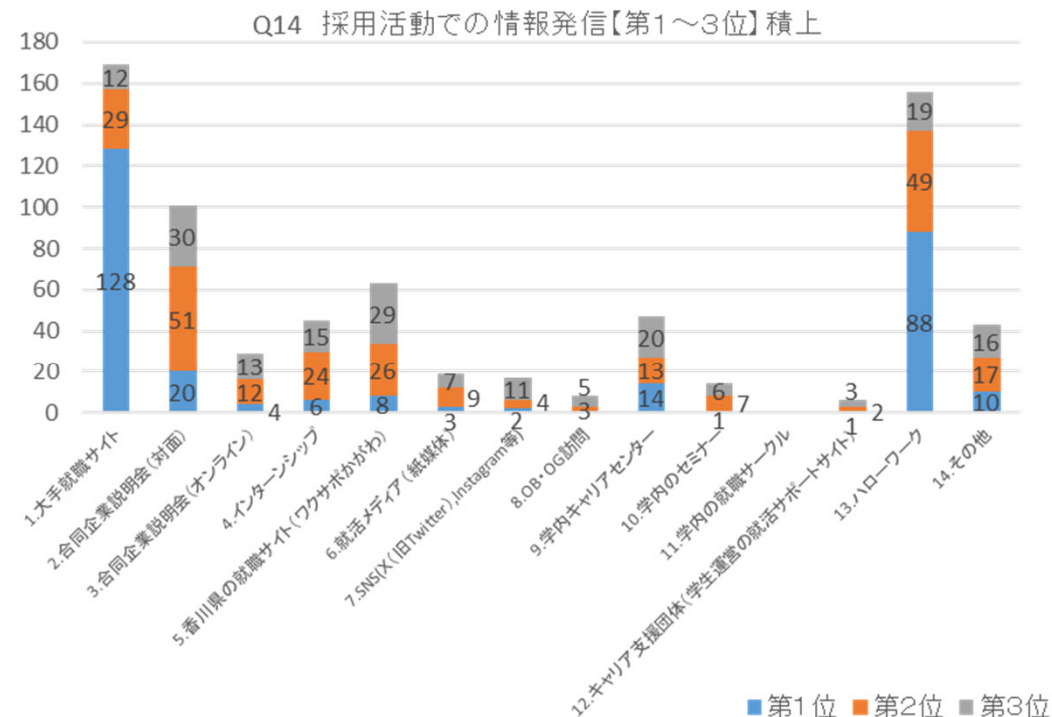
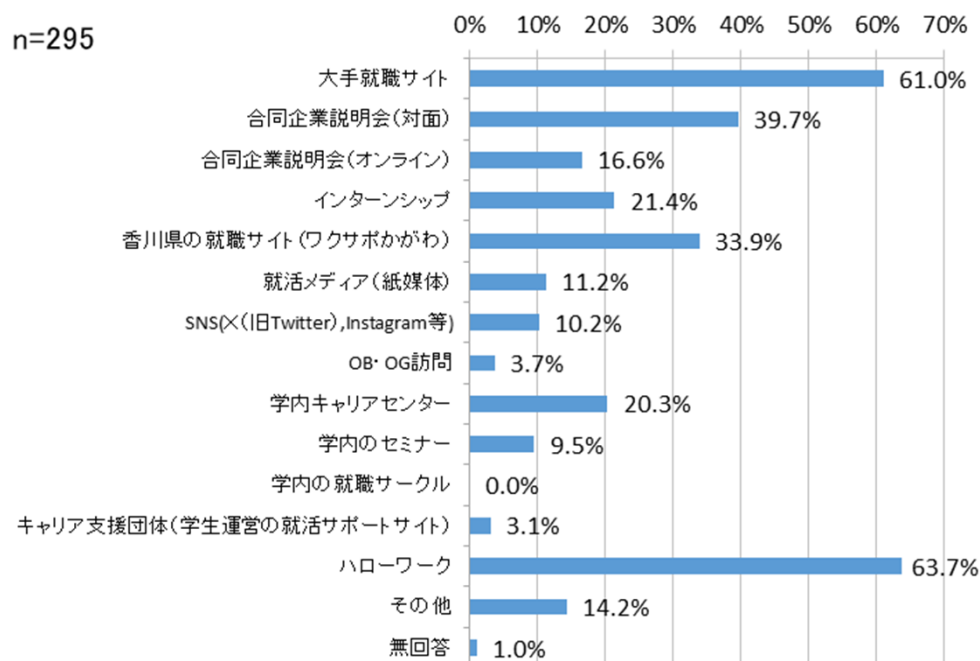


➤ 内定辞退の主な理由について、

「1.他社から内定が出た」156社が最も多く、うち147社が1位に選んでいる。次いで、「2.希望の職種ではなかった」82社、「5.家族の意向」64社と続く。

■ 採用活動における広報に関する事項

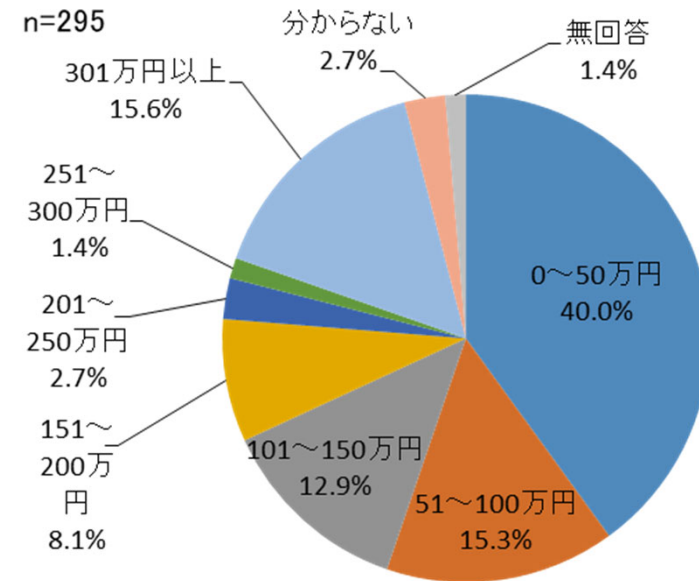
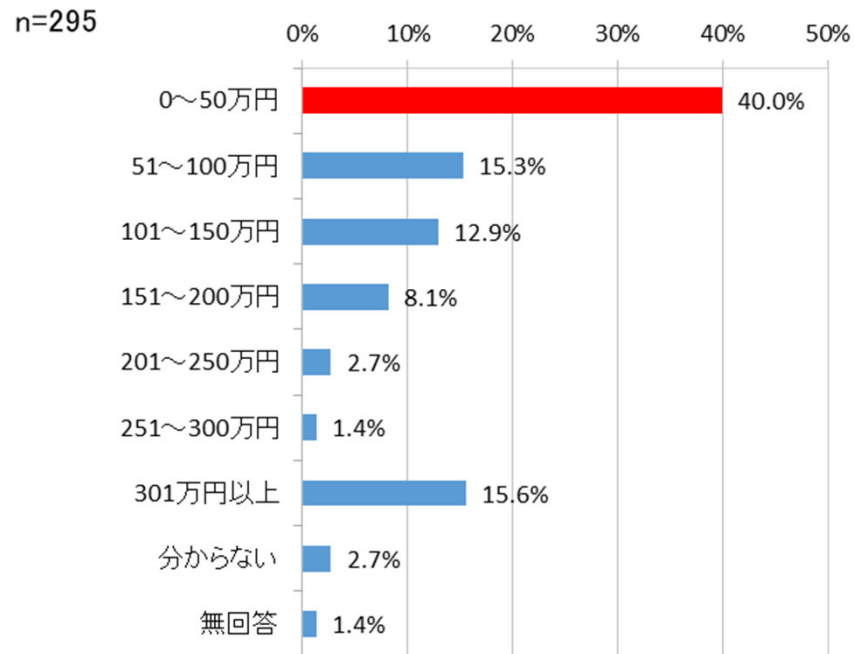
Q14 【どのように情報発信しているか】



- どのように情報発信しているか(実施しているもの全て)については、採用活動有とした回答した企業295社のうち、「13.ハローワーク」63.7% (188社) が最も多く、次いで「1.大手就職サイト」61.0% (180社)、「2.合同企業説明会(対面)」39.7% (117社) と続く。
- 上位1位～3位に選んだ内容のみで見ると、「1.大手就職サイト」169社が最も多く、128社が1位に選んでいる。次いで、「13.ハローワーク」156社が多く、うち88社が1位に選んでいる。

■ 採用活動における広報に関する事項

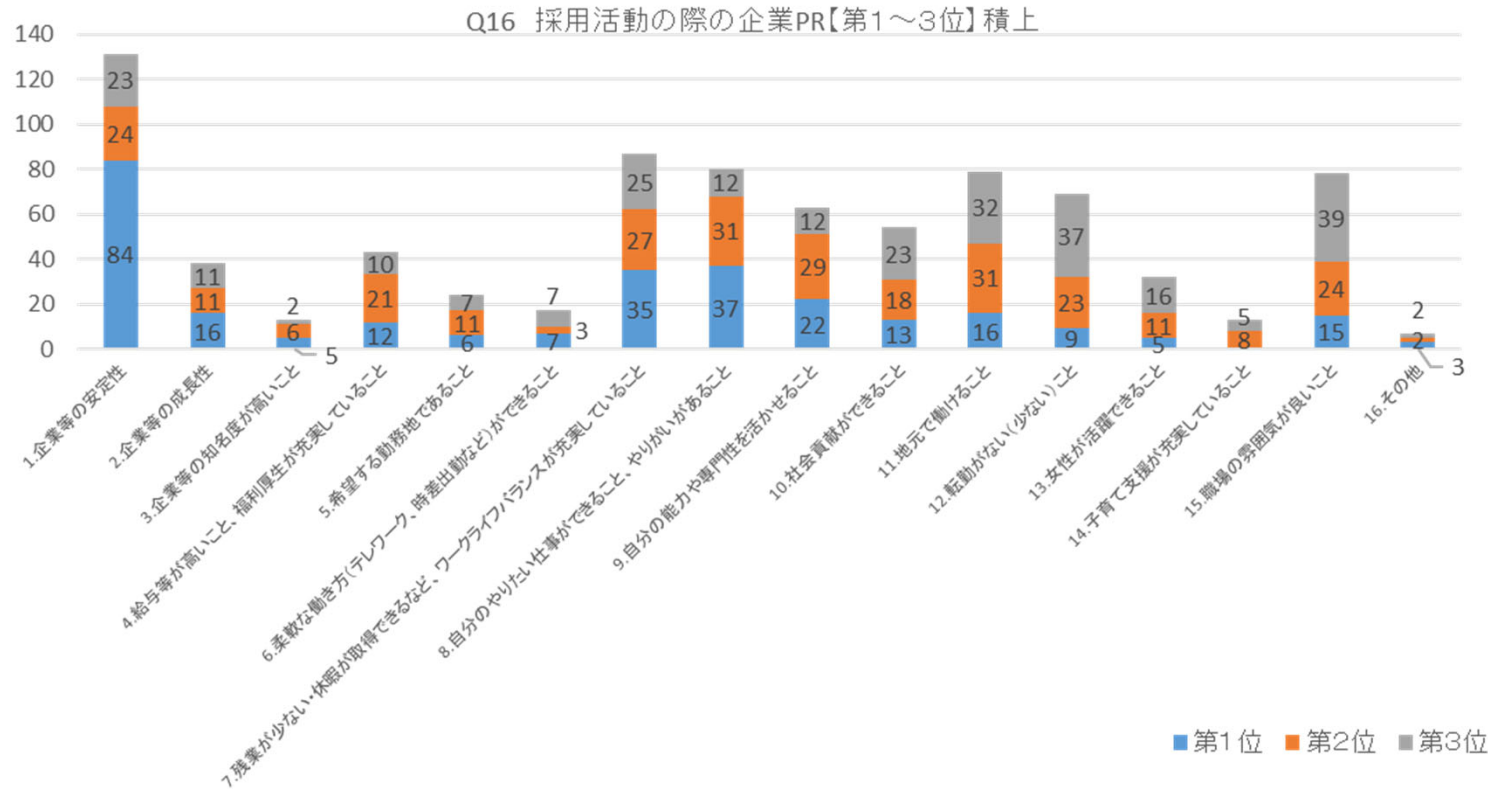
Q15 【いくらかけているか】



- 採用活動にいくらかけているかについて、「0~50万円」40.0%が最も多く、次いで「301万円以上」15.6%、「51~100万円」15.3%であった。
- 全体の55.3%が「0~100万円」の経費をかけている。

■ 採用活動における広報に関する事項

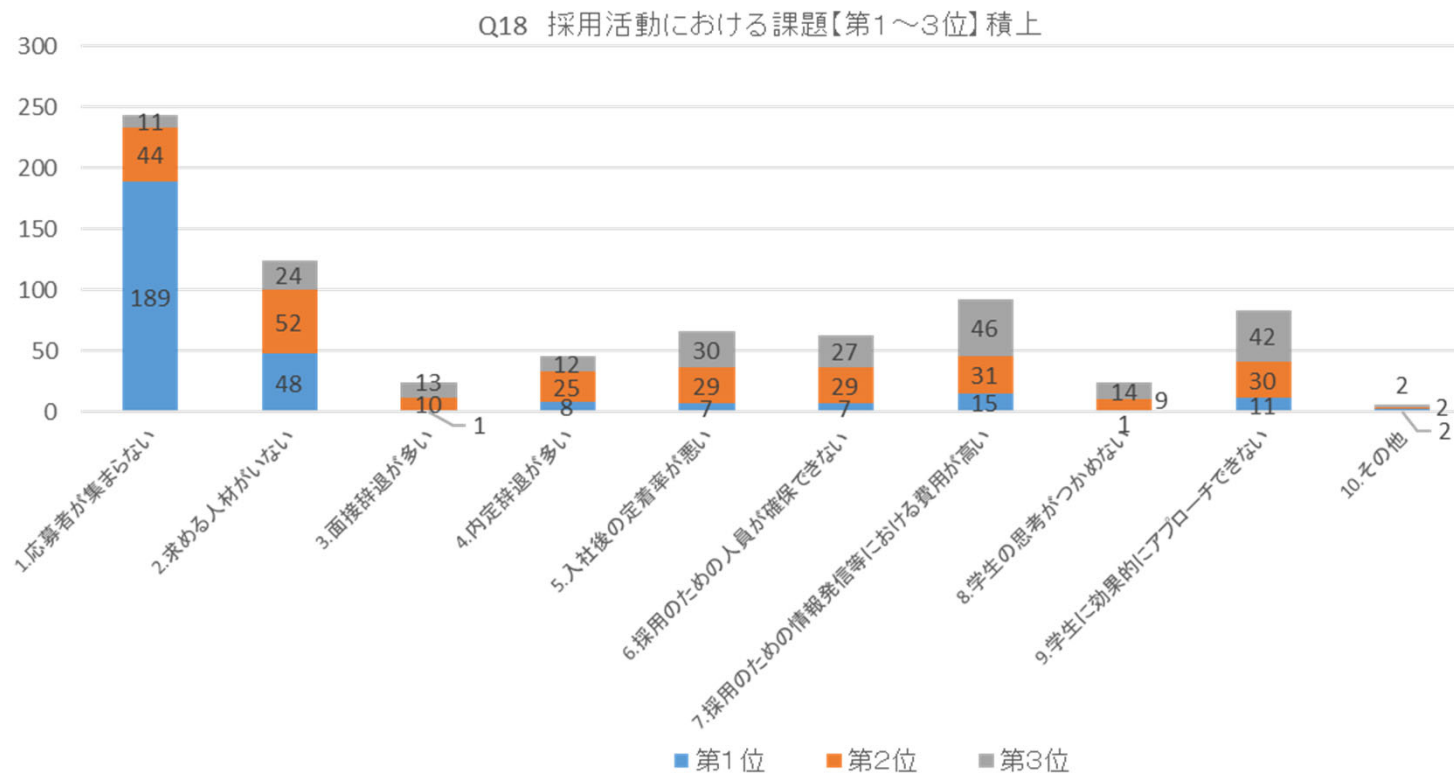
Q16 【採用活動時にPRしていること】



- 採用活動時にPRしていることについて、
 「1.企業等の安定性」131社と最も多く、うち84社が1位に選んでいる。次いで、
 「7.残業が少ない・休暇が取得できるなど、ワークライフバランスが充実していること」87社、「8.自分のやりたい仕事ができること、やりがいがあること」80社と続く。

■ 採用活動における広報に関する事項

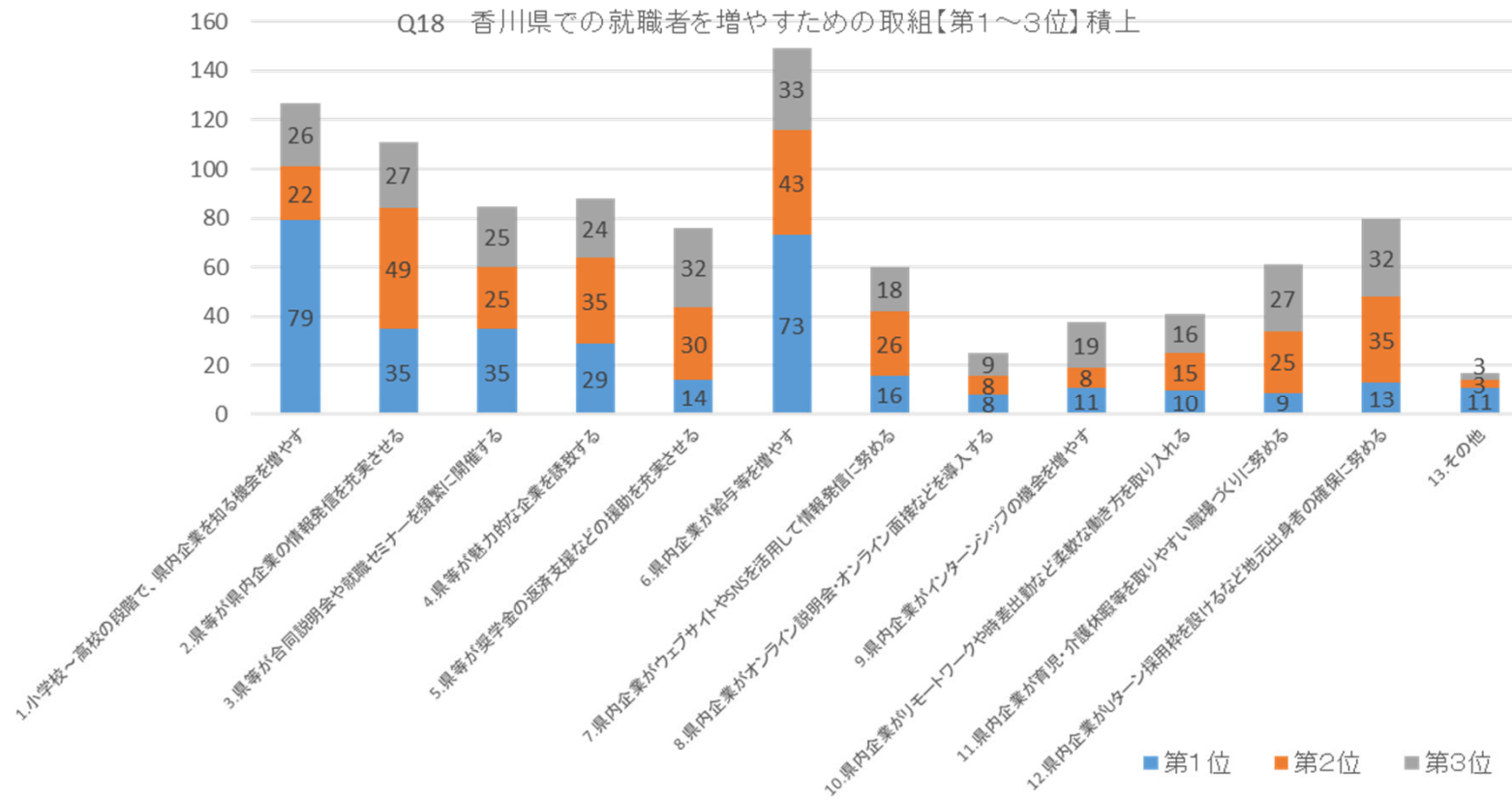
Q17 【採用活動における課題】



- 採用活動における課題として、
 「1.応募者が集まらない」244社が最も多く、うち189社が1位に選んでいる。
 次いで、「2.求める人材がいない」124社で、うち48社が1位に選んでいる。

■ 香川県の就職状況についてのご意見

Q18 【香川県内での就職者を増やすために必要な取組】



➤ 香川県内での就職者を増やすために必要な取組について、
 「6.県内企業が給与等を増やす」149社が最も多く、次いで
 「1.小学校～高校の段階で、県内企業を知る機会を増やす」127社、
 「2.県等が県内企業の情報発信を充実させる」111社と続く。